

民主主義社会における暴力を非難する決議

去る7月8日、奈良市内において参議院議員通常選挙の遊説中に、安倍晋三元内閣総理大臣が銃撃を受けるという痛ましい事件が発生した。

そもそも、民主主義社会においては、言論をたたかわせることにより、主権者が政策を理解し、判断することで政権の選択がされる。その過程において、暴力などで政治家の命を脅かすことは言語道断であり、到底容認できない。

いかなる理由であれ、今回のような蛮行は許されるものではなく、精華町議会として、最大限の非難をするとともに、暴力などに屈せず、我が国の民主主義と精華町の自治を発展させるため邁進することを宣言する。

以上、決議する。

令和4年7月14日

京都府精華町議会